

【取組の期間：令和3年4月～令和8年3月までの5年間】

令和4年度事業実績及び 令和5年度実施予定事業



令和5年11月 大分都市広域圏推進会議資料

大分都市広域圏推進会議

大分市 別府市 臼杵市 津久見市 竹田市 豊後大野市 由布市 日出町

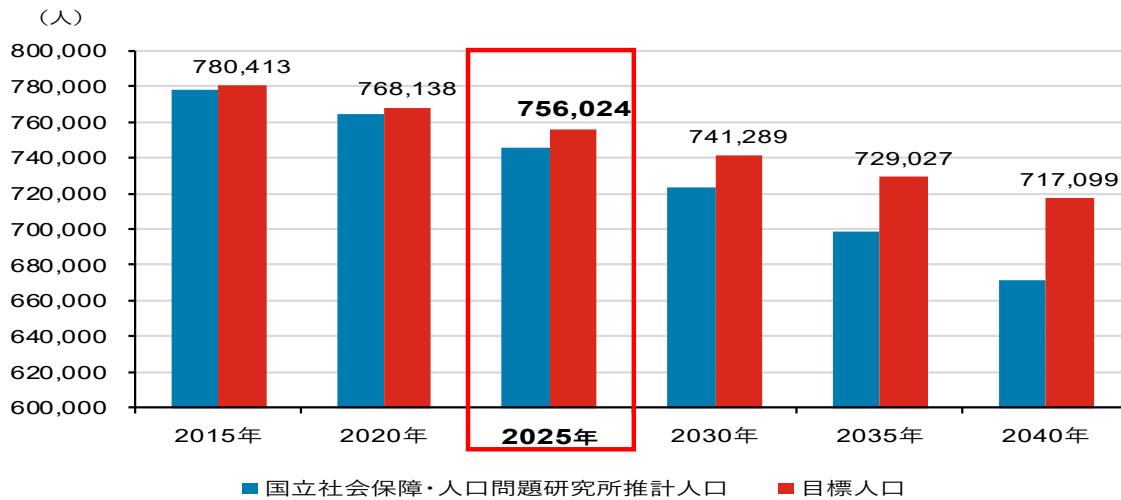
大分都市広域圏の圏域の将来像

(1) 大分都市広域圏の将来像

人と地域を未来につなぐ『大分都市広域圏』
～温泉や南蛮文化など多彩な地域資源を生かした
創造都市圏を目指して～

(2) 今後の人口目標

圏域人口目標：75.6万人（2025（令和7）年の目標人口）



出所：圏域各市町の地方創生人口ビジョンより

圏域づくりの全体像

現状と課題

方向性

<p>圏域全体の 経済成長の けん引 (産業)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ (工業) 生産年齢人口の減少による人手不足や後継者不足の深刻化が懸念されるなど、事業活動の維持が課題となっている ■ (商業・サービス業) 環境の変化に対応できる知識・スキルを持つ人材の育成や後継者の確保などが課題となっている ■ (農林水産業) 担い手不足に加え、農林水産業の産出額が減少していることから農林水産業全体の底上げが課題と考えられる ■ (観光) 温泉以外の観光資源の認知度の向上と誘客の推進に加え、新型コロナウイルス感染症流行の影響を受けている事業者に対する支援が課題と考えられる 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ (工業) 事業活動の維持に向けた人手の確保にむけ、定住促進や事業承継スキームの構築に取り組む ✓ (商業・サービス業) 圏域の強みを生かした産業・サービスを育成するため、企業・団体や関係機関とのネットワークの構築及び具体的な取組を進める ✓ (農林水産業) 地場産品のブランドの育成や販路拡大とともに、新たな担い手の確保や新たな技術の活用などを通じた生産性維持・向上に努める ✓ (観光) 回遊型観光ルートの造成とともに、「新しい生活様式」に対応した新たな旅行スタイル・パッケージの構築・普及促進を図る
<p>高次の 都市機能の 集積・強化 (都市機能)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ (防災) 大規模災害に備え、消防や救急などの災害対応体制について、連携市町及び圏域外他地域と連携を強める必要がある ■ (都市基盤) 過疎地域を中心としたバス路線の廃止、免許返納件数の増加などにより「交通弱者」の増加が懸念され、広域交通網の利便性の改善が課題となっている ■ (高等教育) 高等教育機関を卒業した学生の圏域外への流出が考えられ、学生をはじめとした若年層の就職支援や定着の取組をさらに進める必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ (防災) 消防通信指令システムをはじめ、災害発生時に迅速かつ適切な対応が取れるよう、連携市町及び圏域外他地域との連携構築・強化に取り組む ✓ (都市基盤) 圏域住民や観光客の利便性向上に留まらず、関係人口創出も視野に、圏域外の市町村間や空港、駅など、主要な交通拠点を結ぶ広域交通網の充実に取り組む ✓ (高等教育) 学生による圏域共通の課題解決に向けた研究の気運を高めるとともに、学生の圏域内就職に向けた支援に加え、圏域住民が生涯学び続けられる環境の整備に取り組む
<p>圏域全体の 生活関連機 能サービスの 向上 (住民 サービス)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ (医療・福祉・介護) 要支援・要介護者の増加、生産年齢人口の減少による社会保障費の負担増加や地域の医療体制を支える医師・看護師等の人材育成が課題になると考えられる ■ (行政サービス) デジタル社会に対応したデジタル・ガバメントの実現が求められ、その基盤となるマイナンバーカードの普及、利活用の推進等が引き続き課題となっている ■ (地域資源・地域振興) 若年層の進学や就職を契機とした転出など、福岡県をはじめとした大都市圏への人口流出が課題となっている ■ (圏域マネジメント) 多様な地域間交流の実現に向けて、今後は外部からの行政及び民間人材の確保などに取り組む必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ (医療・福祉・介護) 健康づくりに向けたインセンティブの導入などにより、健康寿命の延伸を図る ✓ (行政サービス) マイナンバーカードやオープンデータ等新たな技術を活用することにより、圏域住民の利便性向上を図る ✓ (地域資源・地域振興) 移住・定住施策の推進とともに、圏域の魅力を生かし多拠点生活を促進するなど、圏域人口の維持に向けた取組を進める ✓ (圏域マネジメント) 地域課題解決を図るアイデアソンの開催や、柔軟な人材の登用、相互派遣など多様な主体との連携・協働の機会創出により、将来の圏域を担う人材の育成に努めるとともに、公共施設の広域的な利用を推進し、公共施設の利便性やファシリティマネジメントの効率性のさらなる向上を図る

基本連携項目

1 圏域を構成する各市町の特色を十分に生かした経済成長のための経済戦略の策定及び産学官民一体となった体制整備

2 中堅企業及び中小企業の経営強化、創業促進等を核とした戦略産業の育成

3 企業誘致の促進

4 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

5 戦略的な観光施策

6 広域的災害等に関する機能の構築

7 広域的公共交通網の構築

8 高等教育・研究開発の環境整備

9 公共施設の相互利用の促進

10 健康診断の受診率向上

11 相談支援機能の強化

12 地域子育て支援の充実

13 広域的教育の連携

14 文化・芸術の振興

15 スポーツの振興

16 文化財等の保護及び活用

17 雇用対策

18 市民活動の推進

19 減災・防災体制の充実

20-1 一般廃棄物の広域処理

20-2 資源循環型社会の形成

21 特定外来生物の広域防除

22 水源流域の水環境の改善

23 救急搬送体制の連携強化の推進

24 地域公共交通ネットワークの維持・形成

25 広域幹線道路網の整備促進

26 広域的な情報ネットワークの整備

27 農林水産物の生産振興

28 有害鳥獣の広域防除

29 農林水産物の消費拡大

30 移住・定住対策

31 人材育成・交流

目 次

分野	No.	基本連携項目	事業名	ページ 番号	
(1) 圏域全体の 経済成長の けん引	1	圏域を構成する各市町の特徴を十分に生かした経済成長のための経済戦略の策定及び産学金官民一体となった体制整備	大分都市広域圏推進事業	10	
			えひめ・おおいた交流事業	11	
	2	中堅企業及び中小企業の経営強化、創業促進等を核とした戦略産業の育成	産業活性化プラザ事業	12	
			クリエイティブ産業育成事業	13	
			若手起業家育成事業(起業セミナー～オオイタミライトーク～)	14	
			若手起業家育成事業(おおいた学生ビジネスプランコンテスト)	15	
	3	企業誘致の促進	若手起業家育成事業(若手起業家育成施設～オオイタミライベース～)	16	
			企業誘致情報共有化事業	17	
	4	地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	歩行者天国実施事業	18	
			おおいた食と暮らしの祭典開催事業	19	
			中心市街地プロモーション事業(自治体情報発信拠点づくり促進事業)	19	
			海外販路拡大支援事業	20	
			特産品魅力発信イベント事業	21	
			道の駅等連携事業	21	
	5	戦略的な観光施策	大分都市広域圏観光PR事業	23	
			大分都市広域圏サイクリングイベント事業	24	
			愛媛・大分 周遊スタンプラリー事業	24	
	(2) 高次・強 積次 の都 化市 機能 の	6	広域的災害等に関する機能の構築	クラウド型システムの共同利用による上下水道施設台帳の整備	25
		7	広域的公共交通網の構築	愛媛・大分交流市町村連絡会議	26
えひめ・おおいた交流事業【再掲】				27	
豊予海峡ルート推進事業				27	
8		高等教育・研究開発の環境整備	(事業検討中)	28	

分野	No.	基本連携項目	事業名	ページ 番号
(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	9	公共施設の相互利用の促進	おおいた公共施設案内・予約システム管理運営事業	29
			図書館の相互連携事業	30
	10	健康診断の受診率向上	(事業検討中)	31
	11	相談支援機能の強化	大分あんしんみまもりネットワーク事業	32
			成年後見支援センター中核機関事業	32
			介護認定審査会共同運営事業	33
	12	地域子育て支援の充実	小児夜間急患センター運営支援事業	34
			病児・病後児保育事業	35
	13	広域的教育の連携	大分都市広域圏小中学生交流事業	36
			郷土料理等の学校給食体験事業	37
			えひめ・おおいた小学生相互交流事業	37
	14	文化・芸術の振興	アートレジオン推進事業	38
	15	スポーツの振興	おおいた公共施設案内・予約システム管理運営事業【再掲】	39
			大分都市広域圏サイクリングイベント事業【再掲】	40
	16	文化財等の保護及び活用	キリシタン・南蛮文化交流事業	41
			日豊海岸国定公園の地域資源を活用した魅力発信準備事業	41
	17	雇用対策	移住・定住就労促進事業	42
	18	市民活動の推進	地域おこし協力隊交流事業	43
	19	減災・防災体制の充実	災害時における相互応援	44
	20-1	一般廃棄物の広域処理	新環境センター整備事業	45
	20-2	資源循環型社会の形成	資源循環型社会形成推進事業	46
			下水汚泥燃料化事業	47
	21	特定外来生物の広域防除	特定外来生物広域防除事業	48
22	水源流域の水環境の改善	(事業検討中)	49	
23	救急搬送体制の連携強化の推進	消防指令業務の共同運用に係る準備事業	50	

分野	No.	基本連携項目	事業名	ページ 番号
(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	24	地域公共交通ネットワークの維持・形成	自動運転車両の実験運行事業	51
			バス等の公共交通広域マップ周知事業	52
			公共交通予約システム準備事業	52
	25	広域幹線道路網の整備促進	豊予海峡ルート推進事業【再掲】	53
	26	広域的な情報ネットワークの整備	無料公衆無線LAN推進事業	55
			クラウド型システムの共同利用による上下水道施設台帳の整備【再掲】	55
	27	農林水産物の生産振興	担い手確保対策事業	56
			農業体験ツアーの開催	57
			農業PR動画普及啓発事業	57
	28	有害鳥獣の広域防除	ジビエ利活用支援事業	58
	29	農林水産物の消費拡大	ブランドづくり対策事業	59
			豊後料理普及PR事業	59
			おおいたマルシェ開催事業	60
			おおいたマルシェ in 天神	60
	30	移住・定住対策	移住・定住就労促進事業【再掲】	61
			アートレジオン推進事業【再掲】	62
	31	人材育成・交流	連携強化のための圏域職員研修事業	63
大分都市広域圏未来創造塾			64	

大分都市広域圏 専門部会

部会名	◎部会長（担当課） ○副部会長（担当課）
幹事会	◎大分市（企画課） ※副幹事長なし
各専門部会との調整、大分都市広域圏推進会議及びビジョン会議の開催 など	
商工観光部会	◎大分市（商工労政課） ○別府市（観光課）
地場産品のブランドの育成及び販路の拡大、戦略的な観光施策、移住・定住対策 など	
農林水産部会	◎大分市（農政課） ○竹田市（農政課）
農林水産物の生産振興及び消費拡大、特産品の情報発信 など	
福祉保健部会	◎大分市（福祉保健課） ○臼杵市（保険健康課）
相談支援体制の強化、地域子育て支援の充実 など	
環境部会	◎大分市（環境対策課） ○豊後大野市（環境衛生課）
特定外来生物の広域防除 など	
都市基盤部会	◎大分市（都市計画課） ○津久見市（経営政策課）
地域公共交通ネットワークの利用促進 など	
防災部会	◎大分市（防災危機管理課） ○由布市（防災安全課）
広域的災害等に関する機能の構築、減災・防災体制の充実 など	
一般廃棄物処理施設整備部会	◎大分市（清掃施設課） ○由布市（環境課）
一般廃棄物の広域処理	
デジタル部会	◎大分市（情報政策課）
行政手続きのデジタル化 など	

将来像の実現に向けた取組一覧

令和4年度事業実績

及び

令和5年度実施予定事業

(1) 圏域全体の経済成長のけん引

担当部会： 幹事会

1	圏域を構成する各市町の特色を十分に生かした経済成長のための経済戦略の策定及び産学官民一体となった体制整備	ビジョン 24ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
圏域内の企業、大学、研究機関、金融機関、連携する市町等が一体となった経済戦略推進体制の構築に取り組む。		
連携事業		
<p>大分都市広域圏の特徴を生かした、効果的で実行性のある経済戦略を策定し、産学官民が連携を進めることにより、圏域内の全市町における経済成長を目指します。</p> <p>具体的には、産業界、学校、金融機関、官公庁、民間が一体となって圏域の将来について協議できる場を設定するとともに、産学官連携を中心とした連携の取組を推進します。</p> <p>【主な実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分都市広域圏推進事業 		
連携効果		
<p>経済戦略に基づく取組を行うことで、特産物のPRや観光客誘致で魅力向上や販路拡大に相乗効果を持たせることに加え、企業誘致や人材確保での情報共有を図ります。</p> <p>また、産学官連携の拡大により、技術開発や商品開発、就職マッチングの促進など、効果的な事業の推進が期待できます。</p>		

事業名	大分都市広域圏推進事業	
令和4年度実績	連携中枢都市圏構想に基づき結成した大分都市広域圏全体の進捗管理を行う。 ・大分都市広域圏推進会議の開催（11月4日） ・大分都市広域圏ビジョン会議の開催（10月21日） ・幹事会、各専門部会を計20回開催 ・重要業績評価指標KPIによる事業の進捗管理	
	決算額	876 千円
令和5年度実施予定事業	連携中枢都市圏構想に基づき結成した大分都市広域圏全体の進捗管理を行う。 ・大分都市広域圏推進会議の開催（11月21日） ・大分都市広域圏ビジョン会議の開催（11月1日） ・幹事会、各専門部会を開催（上半期に計7回開催済み） ・重要業績評価指標KPIによる事業の進捗管理	
	予算額	1,362 千円
取組の評価と今後（令和5年度以降含む）の方針や考え方		
令和2年度に策定した第2期大分都市広域圏ビジョンに基づき、連携市町や専門部会と協力し、事業の構築や進捗管理を図っていく。		



【令和4年度 推進会議の様子】



【令和4年度 ビジョン会議の様子】

事業名	えひめ・おおいた交流事業	
令和 5年度 実施予定 事業	<p>愛媛・大分両県18自治体の企画部門課長級職員と、両県の青年会議所、大学等研究機関、観光・交通事業者等からなる実行委員会を結成。圏域における課題を抽出し、当該課題を解決するための施策について、総合的に協議及び検討を行うとともに、圏域内の交流を促進し、圏域の魅力を発信する事業を実施することにより、将来にわたり活力ある圏域経済の形成に寄与することを目的とする。</p> <p>(大分側) 大分都市広域圏の8市町、佐伯市 (愛媛側) 宇和島市、八幡浜市、大洲市、西予市、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回えひめ・おおいた交流事業実行委員会開催 (5月19日) ・ 第2回えひめ・おおいた交流事業実行委員会開催 (10月13日) ・ 第3回えひめ・おおいた交流事業実行委員会開催予定 (令和6年2月) 	
	予 算 額	8,600 千円
取組の評価と今後 (令和5年度以降含む) の方針や考え方		
<p>圏域内交流人口の増加や、圏域外から人を呼び込む効果が見込める事業を実施することで、将来にわたり活力ある圏域経済の形成を目指す。</p>		



【令和5年度 第1回実行委員会の様子】

(1) 圏域全体の経済成長のけん引

担当部会： **商工観光部会**

2	中堅企業及び中小企業の経営強化、創業促進等を核とした戦略産業の育成	ビジョン 25ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
経済戦略に基づき、圏域の戦略産業の育成に取り組む。		
連携事業		
<p>取引先マッチング、後継者マッチング、異業種間交流会や、人材育成や経営課題解決に向けた研修やセミナーの共同開催を進めるとともに、圏域内の各支援機関が連携することにより、中堅・中小企業の経営強化を目指します。</p> <p>また、創業に向けた研修やセミナーの共同開催、インキュベーション施設間の交流などを行うことで起業を促進します。</p> <p>【主な実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業活性化プラザ事業 ・クリエイティブ産業育成事業 ・若手起業家育成事業(起業セミナー～オオイタミライトーク～) ・若手起業家育成事業(おおいた学生ビジネスプランコンテスト) ・若手起業家育成事業(若手起業家育成施設～オオイタミライブース～) 		
連携効果		
<p>取引先マッチングや異業種交流、各支援機関への相談を圏域で共同実施することで、参加者の幅が広がり、より適した相手との連携が可能となります。</p> <p>また、研修等を共同で行うことで、各市町の強みとなる分野を他市町と共有できることに加え、参加者が限られるテーマの受講者も確保できるため、企画・運営に係る事務の効率化が期待できます。</p>		

事業名	産業活性化プラザ事業	
令和 4年度 実績	<p>「本市における創業及び中小企業者の事業活動を支援することで、地域産業の活性化及び中小企業者の技術力の向上に寄与すること」を実現するため、経営相談やセミナー等の開催を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座数：16 ・総受講者数：延べ700人 	
	決 算 額	30,669 千円
令和 5年度 実施予定 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・講座数：20 ・総受講者数：延べ1,200人以上 	
	予 算 額	30,737 千円
取組の評価と今後（令和5年度以降含む）の方針や考え方		
<p>令和4年度は、新型コロナウイルスへの対策をとりながら、オンラインでも参加可能なハイブリット形式のセミナーなど16講座を開催し、総受講者数は700人だった。</p> <p>今後は、新型コロナウイルスが5類感染症へ移行したことに伴う人数制限の緩和や、引き続き講座の周知やオンラインとのハイブリット形式の導入等を通じて、受講者数を増やしていきたい。また、創業・中小企業支援の観点からも有益な講座となるよう、講座の内容や講師の選定、開催方法等も含め、様々な検討を行っていく。</p>		

事業名	クリエイティブ産業育成事業	
令和4年度実績	<p>1. 経営とブランディング講座 大分都市広域圏内の事業者、大分県内のクリエイター及び大分都市広域圏に在住している学生を対象に、(株)中川政七商店による全6回の「経営とブランディング講座」を開催した。本事業を通して企業の経営診断・改善、ブランド構築、商品開発から流通・販売、情報発信に至るまでの一貫したプロデュースを担える人材を育成した。 【受講者数】17名(事業者10名、クリエイター2名、学生5名) 【開催日】令和4年 7月6日(水) 事前セミナー 8月20日(土) 第1回「経営戦略をたてる」 9月17日(土) 第2回「ブランドをつくる(前半)」 10月22日(土) 第3回「ブランドをつくる(後半)」 11月19日(土) 第4回「商品をつくる」 12月17日(土) 第5回「コミュニケーションを設計する」 令和5年 1月28日(土) 第6回「成果発表会」</p> <p>2. デザインコンテスト 既存商品デザインのリニューアルや新商品のデザイン等、商品に課題のある大分市内の事業者の商品に対し、大分県内に在住または通勤・通学するクリエイターから作品を募集し、マッチングが成立したクリエイターと企業が共同でデザインを制作、発表し、優秀作品を表彰した。 【デザイン募集】10商品(一般の部及び学生の部、うち1社辞退) 【応募作品】77点(一般の部及び学生の部、うち7点表彰)</p> <p>3. 個別相談会の実施及び大日本市(合同展示会)への出展 令和3年度の経営とブランディング講座受講者に対し、個別相談会の実施(5者)及び大日本市への出展(4者(大分市、臼杵市、由布市、宇佐市))を行った。</p>	
	決算額	17,377千円
令和5年度実施予定事業	<p>1. デザイン経営キャンプ 大分都市広域圏内の事業者、大分県内のクリエイターを対象に、デザイン経営を実践的に学べるワークショップ形式の短期プログラム「デザイン経営キャンプ」を実施する(全6回)。事業者とクリエイターが協同で、講師の指導のもと実用性の高い計画を策定する。最終日に策定した計画を発表し、優れた計画を表彰するコンテストを開催する。</p> <p>2. 次代のクリエイター発掘! ソーシャルデザインプランコンテスト 大分県内の若手クリエイターまたは学生を対象に、大分市の抱える課題をデザインの観点で解決するプランを募集し、優れたプランを表彰するコンテストを開催する。</p> <p>3. 大日本市(合同展示会)への出展(5社まで) 令和4年度以前の経営とブランディング講座受講者を対象に事業化した商品を大日本市へ出展し、販路拡大を支援する。</p>	
	予算額	15,224千円
取組の評価と今後(令和5年度以降含む)の方針や考え方		
令和2年度まで大分市の事業としていたが、令和3年度から大分都市広域圏事業として実施している。令和4年度の実績、成果及び、課題等を踏まえ、引き続き事業を実施する予定。		



一般の部 最優秀賞(令和4年度)
【クリエイター】樋口太希氏(ilocami)
【課題提供企業】株式会社ふたばタクシー
【課題】会社のロゴマーク

事業名	若手起業家育成事業 (起業セミナー～オオイタミライトーク～)	
令和 4年度 実績	第1回セミナー：7月9日開催（参加者：26名） 講師：濱崎 皓王氏 株式会社collEco 代表取締役 講演テーマ：「学生起業のファーストステップ」 第2回セミナー：10月23日開催（参加者：19名） 講師：森 祐太氏 株式会社HAB&Co. 代表取締役 講演テーマ：「ローカルスタートアップの創業からEXITまでのストーリー」 第3回セミナー：11月26日開催（参加者：37名） 講師：鶴岡 裕太氏 BASE, Inc. 代表取締役・CEO 講義テーマ：「ひとりの大学生が学生起業家になった日」 ●大分都市広域圏内に所在する各学校へ直接ポスター及びチラシを配布し、広報・募集を実施 決算額（※1、※3を含む） 4,725 千円	
令和 5年度 実施予定 事業	第1回セミナー：7月30日開催（参加者：25名） 講師：西岡 津世志氏 ㈱夢を語れ 代表取締役 サブ講師：三浦 里芳氏 まほうのおうちオーナー ※域内（別府市）若手起業家 講演テーマ：「夢は人生の目的を果たす道具」 第2回セミナー：9月23日開催（参加者：28名） 講師：平原 依文氏 HI合同会社 代表 サブ講師：寺本 聖氏 起業家シェアハウスSEKIYA. so代表 ※学生（若手）起業家 講演テーマ：「『当たり前』の常識を溶かすことですべての人が活躍できる社会を作る」 第3回セミナー：10月22日開催（参加者：16名） 講師：鶴川 洋明氏 ミラクカンパニー(株) 代表取締役 講演テーマ：「ビジョナリーワークデザイン・ワークショップ ～OMB ver.～」 ●大分都市広域圏内に所在する各学校へ直接ポスター及びチラシを配布し、広報・募集を実施 予算額（※2を含む） 6,034 千円	
取組の評価と今後（令和5年度以降含む）の方針や考え方		
<p>令和4年度については、多くの若者に参加していただいた。ただし、複数回訪れる若者が少数であったため、令和5年度以降の取組みの課題と認識している。令和5年度以降も引き続き起業セミナー～オオイタミライトーク～を開催し、学生等の創業マインドの醸成に努めていく。令和5年度にプレオープンする若手起業家育成施設とも連携し、若手起業家の育成と成長を目指していく。</p> <p>なお、本事業については、大分都市広域圏に居住または通学する若者（学生や概ね29歳以下の社会人）をターゲットとしているため、各市町と連携し、各学校や起業に興味がある若者に対して積極的な広報を行い、参加者の確保に努める。</p>		

学生のための起業セミナー
オオイタミライトーク

起業家の先輩たちが学生のみならず、卒業までの道中や
 ワクワクするような事業についてトークします。
 みんなの未来を応援できるような「知識、価値」を届ける
 あなた？

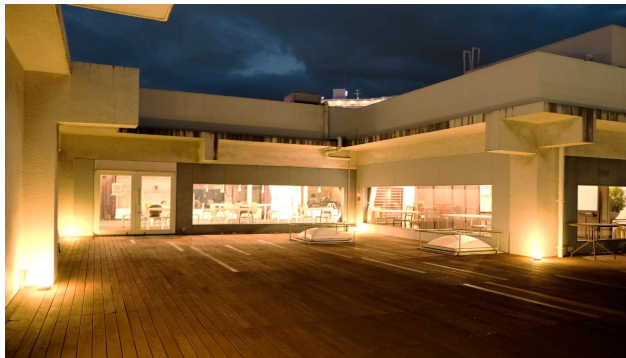
第1回
 講師：西岡 津世志氏 ㈱夢を語れ 代表取締役
 サブ講師：三浦 里芳氏 まほうのおうちオーナー ※域内（別府市）若手起業家
 講演テーマ：「夢は人生の目的を果たす道具」
 7月30日(日) 14:00-17:00(開場 13:30-)

第2回
 講師：平原 依文氏 HI合同会社 代表
 サブ講師：寺本 聖氏 起業家シェアハウスSEKIYA. so代表 ※学生（若手）起業家
 講演テーマ：「『当たり前』の常識を溶かすことですべての人が活躍できる社会を作る」
 9月23日(金) 14:00-17:00(開場 13:30-)

第3回
 講師：鶴川 洋明氏 ミラクカンパニー(株) 代表取締役
 講演テーマ：「ビジョナリーワークデザイン・ワークショップ ～OMB ver.～」
 10月22日(日) 14:00-17:00(開場 13:30-)



事業名	若手起業家育成事業 (若手起業家育成施設～オオイトミライベース～)	
令和4年度実績	<p>地域定着や雇用の創出、スタートアップエコシステムの構築に向けて、大分都市広域圏のみならず域外の概ね29歳以下の若者が気軽に集い、学び、考え、実践できる場の創出を目指している。</p> <p>施設では、起業に関する知識を習得するための学びの場や起業に対するハードルを下げることに繋がる取組を実施するとともに、一緒に起業を目指す仲間や先輩起業家、投資家、支援企業等と出会うことのできる場や思考やアイデアを磨いていくことのできる交流スペース等を提供していく。</p> <p>令和4年度は施設の候補地について、通行量や若者の趣向に合致した店舗の出店状況等を総合的に評価する候補地調査を実施した。</p>	
	決算額	(※3)
令和5年度実施予定事業	<p>令和6年度以降の本格稼働を目指して、若者のニーズや起業家育成に向けて必要となる機能等の検証・分析を行うためのプレオープンを実施する。</p> <p>【実施期間】令和5年9月24日～令和6年3月20日</p> <p>【設置場所】大分市中央町3丁目5-16 ワザワザビル 4F レンタルスペース To-tA (トータ)</p>	
	予算額	16,000 千円
取組の評価と今後（令和5年度以降含む）の方針や考え方		
<p>令和4年度に実施した候補地調査及び令和5年度に実施するプレオープンの結果を踏まえ、令和6年度以降の本格稼働についての方向性を決定する。</p> <p>なお、本事業については、大分都市広域圏に居住または通学する若者（学生や概ね29歳以下の社会人）をターゲットとしているため、各市町と連携し、各学校や起業に興味がある若者に対して積極的な広報を行い、利用の促進に努める。</p>		



(1) 圏域全体の経済成長のけん引

担当部会： 商工観光部会

3	企業誘致の促進	ビジョン 25ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
経済戦略に基づき、圏域への企業誘致に取り組む。		
連携事業		
<p>圏域内市町で連携して大分都市広域圏の魅力やPRする機会の創出や進出希望企業の情報共有などを行うことで、企業進出へ結びつけることを目指します。</p> <p>また、進出予定の企業に対して、圏域内で連携して労働力や取引先の確保などに取り組めます。</p> <p>【主な実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致情報共有化事業 		
連携効果		
<p>連携した活動や企業情報の共有により営業機会が拡大し、より多くの企業へ提案できるようになり、単独自治体では難しい首都圏などでの営業が可能になります。</p> <p>また、近隣市町との情報共有や、連携した支援を行うことで誘致成功率の上昇が期待できます。</p>		

事業名	企業誘致情報共有化事業	
令和4年度実績	大分都市広域圏のホームページに各市町の助成制度や工業団地の情報などを掲載したページのリンクを貼付することで、大分都市広域圏内に進出しようとする企業に向けた情報発信を行った結果、圏域外からの誘致企業件数は11件となった。	
	決算額	---
令和5年度実施予定事業	大分都市広域圏のホームページに各市町の助成制度や工業団地の情報などを掲載したページのリンクを貼付することで、引き続き大分都市広域圏内に進出しようとする企業に向けた情報発信を行う。	
	予算額	---
取組の評価と今後（令和5年度以降含む）の方針や考え方		
今後もホームページの最新情報を更新していくとともに、引き続き各市町と連携して企業誘致情報の発信に努めていく。		

(1) 圏域全体の経済成長のけん引

担当部会： 商工観光部会

4	地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	ビジョン 26ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
経済戦略に基づき、圏域の多彩な地場産品のブランドの育成及び販路の拡大に取り組む。		
連携事業		
<p>圏域市町で特産品や観光資源どうしを連携させることにより、地域資源の魅力向上を目指すとともに、特産となる農林水産物の圏域内での6次産業化の支援を行うとともに、これにより生まれる新たな観光プランも支援します。</p> <p>また、イベントなどへの共同出展や販路拡大営業の増加、ネットショップなどの共同運営などに取り組みます。</p> <p>【主な実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者天国実施事業 ・おおいた食と暮らしの祭典開催事業 ・自治体情報発信拠点づくり促進事業 ・海外販路拡大支援事業 ・特産品魅力発信イベント事業 		
連携効果		
<p>特産品どうしの組み合わせや温泉と農産物を組み合わせた宿泊観光プランの設定、6次産業化を連携して行うことで、地域資源の魅力が向上します。</p> <p>また、地域資源のPRや販路拡大を共同で行うことにより、ブランド化や認知度の増加、国内はもとより海外への販路拡大がより期待できます。</p>		

事業名	歩行者天国実施事業	
令和4年度実績	<p>歩行者天国を3回（5月、8月、10月）実施しており、5月と10月の開催に合わせ、市町村連携ブースを設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第14回 中央通り歩行者天国（5月28日（土））来場者数 約2.2万人 ・第15回 中央通り歩行者天国（8月27日（土））来場者数 約2.1万人 ・第16回 中央通り歩行者天国（10月22日（土））来場者数 約1.9万人 <p>【参加自治体】大分市、別府市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市</p>	
	決算額	20,491千円
令和5年度実施予定事業	<p>歩行者天国を3回（5月、8月、10月）実施予定としており、市町村連携ブースについては、5月のみ設置とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第17回 中央通り歩行者天国（5月27日（土））来場者数 約2.3万人 ・第18回 中央通り歩行者天国（8月26日（土））来場者数 約2.2万人 ・第19回 中央通り歩行者天国（10月28日（土））来場者数 約2.6万人 <p>【参加自治体】大分市、別府市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市</p>	
	予算額	21,304千円
取組の評価と今後（令和5年度以降含む）の方針や考え方		
<p>自治体連携ブースへの出展事業者からは、歩行者天国への出展を通じ多くの方に商品を周知でき、出展者どうしの繋がりも広がるとの意見を伺っており、今後もイベント主催者である、大分市中央通り歩行者天国推進委員会に対して、市町村連携ブースの設置について、検討を要望していく。</p>		

事業名	おおいた食と暮らしの祭典開催事業	
令和4年度実績	<p>おおいた食と暮らしの祭典を10月15日（土）、16日（日）に実施しており、イベントコンテンツとして、市町村連携ブース（10月15日のみ）を設置した。 【参加自治体】 大分市、別府市、豊後大野市、由布市、杵築市、豊後高田市 【来場者数】 2,240人（市町村連携ブース会場のみ）</p>	
	決算額	9,348千円
令和5年度実施予定事業	<p>おおいた食と暮らしの祭典を10月14日（土）、15日（日）に実施しており、イベントコンテンツとして、市町村連携ブース（10月14日のみ）を設置した。 【参加自治体】 大分市、別府市、津久見市、豊後大野市、由布市、中津市、豊後高田市、国東市 【来場者数】 3,080人（市町村連携ブース会場のみ）</p>	
	予算額	11,000千円
取組の評価と今後（令和5年度以降含む）の方針や考え方		
<p>おおいた食と暮らしの祭典については、令和5年度をもって事業を終了とする。</p>		

事業名	中心市街地プロモーション事業 （自治体情報発信拠点づくり促進事業）	
令和4年度実績	<p>大分市府内町にある、自治体情報発信拠点（まちなかビューロ）にて、県内自治体の特産品や農林水産物の販売及びPR等を実施した。 【物産販売】 開催回数 24回 来場者人数 1,460人 参加自治体：豊後高田市（15回）、国東市（5回）、中津市（4回） 【ワークショップ】 開催回数 4回 参加人数 70人 参加自治体：津久見市 【PR】 ポスターや写真の展示及びチラシの配布 参加自治体：豊後高田市、国東市、中津市、津久見市（計28回）</p>	
	決算額	7,168 千円
令和5年度実施予定事業	<p>自治体情報発信拠点（まちなかビューロ）にて、県内自治体の特産品や農林水産物の販売及びPR等を実施する予定。</p>	
	予算額	6,235 千円
取組の評価と今後（令和5年度以降含む）の方針や考え方		
<p>出展者からは、「まちなかビューロで商品を購入されたお客様の口コミで、地元の店舗まで新規のお客様が来店してくれた。」「お客様から、次回の出展を心待ちにしている。」との声もいただいております。今後も中心市街地に大分都市広域圏をはじめとする県内の自治体が、特産品や農林水産物の販売、観光・イベント等をPRできる拠点を確保し、出展を希望する自治体の出展期間等の調整及び運営サポートを行う。</p>		



事業名	海外販路拡大支援事業	
令和 4年度 実績	<p>(1) 広域圏を含む他の自治体との連携</p> <p>①「海外バイヤー（アメリカ・東南アジア）招聘商談会」 ◎実施：大分県・大分市共催、大分県貿易協会受託 ◎参加企業数：47社 （広域圏 大分市11社、別府市7社、臼杵市2社、竹田市1社、由布市2社）</p> <p>②「県内留学生等と協働した県産品マーケティング事業」 ◎実施：大分県・大分市共催 ◎参加企業数：10社 （広域圏 大分市3社、別府市1社、臼杵市1社、由布市1社）</p> <p>(2) おおいた海外ビジネス協議会との連携</p> <p>①会員企業間の情報交換・意見交換の場として、定例会を開催 ②福岡フードビジネス協議会との交流会を開催 ◎おおいた海外ビジネス協議会 会員企業数：48社 （広域圏 大分市31社、別府市8社、臼杵市1社、由布市4社、津久見市1社）</p>	
	決 算 額	15,672千円
令和 5年度 実施予定 事業	<p>(1) 広域圏を含む他の自治体との連携</p> <p>①「米国・アジア向け国内輸出業者との九州・山口県産食品・酒類輸出商談会」 ◎実施：九州貿易振興協議会（九州・山口8県及び福岡・北九州・熊本3政令市）主催</p> <p>②「東南アジア販路開拓・ブランド力向上支援事業（マレーシア・シンガポール）」及び「世界に広がる華人経済圏への「The・おおいた」ブランディング事業（香港）」 ◎実施：大分県貿易協会主催、大分県・県内14市協力</p> <p>(2) おおいた海外ビジネス協議会との連携</p> <p>①会員企業間や九州内外の類似団体や企業等との情報共有・意見交換の場「交流サロン」を年3回程度開催 ②海外への販路拡大に必要なテーマを取り上げ、セミナーやワークショップ、実践等に年間通して取り組むことにより、国内や世界のライバルに勝ち抜いていくための“技”の習得を目指す「海外ビジネス塾」を開催 ◎会員企業数：34社 （広域圏 大分市23社、別府市5社、由布市3社、津久見市1社）</p>	
	予 算 額	21,027 千円
取組の評価と今後（令和5年度以降含む）の方針や考え方		
<p>企業に多くのビジネスチャンスを提供できたことから、令和4年度と同様に、県や市町村など、さまざまな主体と連携し、企業のポストコロナ時代における積極的な海外展開をサポートしていく。</p> <p>令和5年度以降については、世界のライバル達に勝ち抜くため、企業は相手から求められている商品（マーケットイン）で勝負する必要があることから、現地のレストランや小売店等の関係者と企業との意見交換の機会を設けるなど、現地で求められている商品の掘り起こしを行うとともに、フィードバックされた情報を新たな商品づくりに生かすなど、継続した取引成立に繋げていく事業を行う予定である。また、その事業で得た知識やノウハウについては各市町村と情報共有を行っていく。</p>		

事業名	特産品魅力発信イベント事業	
令和4年度実績	<p>圏域自治体のイベントにおいて、参加自治体が一堂に会する特産品ブースを設けることで、圏域の一体的な食等の魅力発信を行い、より効果的な特産品販売の裾野拡大と圏域経済の活性化を図る。</p> <p>【イベント名】大分七夕まつり 【開催日】8月6日（土） 【場所】大分県大分市（大分駅北口駅前広場） 【参加自治体】大分都市広域圏7市1町と佐伯市 愛媛県側3市4町</p>	
	決算額	968 千円
令和5年度実施予定事業	<p>【イベント名】きはなはいや伊方まつり 【開催日】7月29日（土） 【場所】愛媛県伊方町（伊方町役場） 【参加自治体】大分都市広域圏1市と佐伯市 愛媛県側4市2町</p> <p>【イベント名】さいきサイクルフェスタ 【開催日】10月7日（土）～8日（日） 【場所】大分県佐伯市（さいき城山桜ホール） 【参加自治体】大分都市広域圏2市と佐伯市 愛媛県側2市</p>	
	予算額	1,500 千円
取組の評価と今後（令和5年度以降含む）の方針や考え方		
今後も圏域内のイベントに合わせて特産品魅力発信イベントを継続して実施していきたい。		

事業名	道の駅等連携事業	
令和4年度実績	<p>愛媛県と大分県の魅力や特色を相互に知ることができるよう、交流市町村の特産品等を参加市町の道の駅等で相互販売・情報発信することで、それぞれの道の駅等の魅力のPRにつなげるとともに、交流人口の増加を目指す。</p> <p>令和4年度は各市町の道の駅等が運営する愛媛・大分の特産品等を販売するオンラインショップ等の情報を集約し、「愛媛・大分交流市町村連絡会議ホームページ」に掲載し発信することで、各ショップへの誘導を図り、特産品等の魅力発信やネット販売の増加につなげる。</p>	
	決算額	---
令和5年度実施予定事業	引き続き「えひめ・おおいた交流事業実行委員会ホームページ」に情報を掲載し、特産品等の魅力発信やネット販売の増加につなげる。	
	予算額	---
取組の評価と今後（令和5年度以降含む）の方針や考え方		
引き続きホームページ等を活用し道の駅等のPRにつなげる。		



(1) 圏域全体の経済成長のけん引

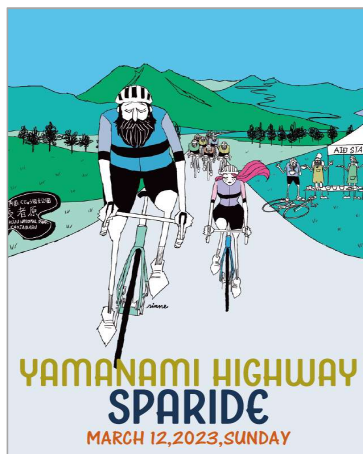
担当部会： 商工観光部会

5	戦略的な観光施策	ビジョン 27ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
経済戦略に基づき、回遊型観光ルートの造成及びMICEの誘致に取り組む。		
連携事業		
<p>全国的に有名な温泉など圏域の魅力的な観光地をイベント出展などにより、共同でPRするなど発信力向上を目指すとともに、圏域の観光地のさらなるブランド化の推進にも取り組みます。また、「新たな日常」にも配慮した圏域内でのMICEの誘致をはじめ、新たな旅行スタイル・周遊プランの作成と、交通連携の強化などにより広域的に観光業の活性化に取り組みます。</p> <p>その他、外国人観光客等の受入体制について、各市町で連携し、「新たな日常」下での滞在スタイルや情報発信の検討、先進的なノウハウ、事例の共有、研修等を通じた人材育成などを行います。</p> <p>【主な実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none">・大分都市広域圏観光PR事業・大分都市広域圏サイクリングイベント事業		
連携効果		
<p>連携したPRやブランド化により、観光ブランドの向上や知名度の低い観光スポットの知名度拡大、観光機会の増加などが見込まれます。</p> <p>また、広域観光により新しい観光地での観光客の増加や、宿泊日数の増加による観光支出額の増加が期待できます。</p> <p>加えて、より進んだ外国人観光客受入体制を他市町にも拡大することによる満足度の向上や、マイクロツーリズムの推進により移動自粛への対応や圏域内の地域間交流が促進されます。</p>		

事業名	大分都市広域圏観光PR事業	
令和 4年度 実績	<p>大都市圏において、大分都市広域圏と連携し、観光資源のPRや物産の販売をすることで、域内への誘客促進ならびに本市の知名度向上を図ることを目的として開催する。</p> <p>【首都圏における魅力発信イベントの実施】 開催日時：9月10日（土） 開催場所：二子玉川ライズ ガレリア 参加都市：大分市、別府市、竹田市、豊後大野市、由布市、日出町 来場者数：約16,000人</p> <p>【関西圏における魅力発信イベントの実施】 開催日時：令和5年1月20日（金）～22日（日） 開催場所：グランフロント大阪 ナレッジプラザ 参加都市：大分市、別府市、臼杵市、竹田市、豊後大野市、由布市、日出町 来場者数：約15,000人</p>	
	決算額	27,739 千円
令和 5年度 実施予定 事業	<p>【関西圏における魅力発信イベントの実施】 開催予定日時：令和6年2月3日（土）～4日（日） 開催予定場所：グランフロント大阪 ナレッジプラザ</p>	
	予算額	16,042 千円
取組の評価と今後（令和5年度以降含む）の方針や考え方		
<p>令和4年度は、本市の観光資源や物産、食などの魅力を発信するため、農政課が実施中のアンテナコーナー（日本百貨店にほんばし總本店、ハレルツナガルマーケット梅田）と連携し、東京及び大阪でイベントを開催した。令和5年度は令和7年度に開催される大阪万博を見据え、関西で重点的にPRを行う。それ以降にPRを行う大都市圏や具体的な事業内容については検討中である。</p>		

事業名	大分都市広域圏サイクリングイベント事業	
令和4年度実績	<p>OITAサイクルフェス!!!2022事業の一環として、プロサイクルチームの合宿を誘致した。プロサイクルチームは、自転車競技の練習に適する地理的条件（高地や標高差など）を有する由布市と竹田市に宿泊し、各市を中心に合宿を行った。</p> <p>また、民間主導によるサイクリング大会を実施した。各市において、エイドステーションや観光PRブース等を設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会名：「やまなみハイウェイSPA RIDE2023『トレジャーハント』」 ・開催日：令和5年3月12日（日） ・参加人数：38人 ・出発地点：大分市、竹田市、豊後大野市、由布市、九重町 	
	決算額	641 千円
令和5年度実施予定事業	<p>OITAサイクルフェス!!!2023を開催。事業の一環として、プロサイクルチームの合宿を誘致。プロサイクルチームは、自転車競技の練習に適する地理的条件（高地や標高差など）を有する由布市と竹田市に宿泊し、各市を中心に合宿を行った。</p> <p>また、民間主導によるサイクリング大会を実施する予定。</p>	
	予算額	800 千円
取組の評価と今後（令和5年度以降含む）の方針や考え方		
他市町と連携し、広域的なルートを活用したサイクリング大会を実施する。実施にあたっては民間団体が主体となるよう働きかけや調整を行う。		

事業名	愛媛・大分 周遊スタンプラリー事業	
令和4年度実施予定事業	<p>【実施期間】9月15日（木）～12月31日（木）</p> <p>【参加自治体】大分都市広域圏7市1町と佐伯市 愛媛県側4市5町</p> <p>【参加施設】48箇所</p> <p>【参加者数】707名</p>	
	決算額	1,308 千円
令和5年度実施予定事業	<p>【実施期間】8月1日（火）～12月31日（日）</p> <p>【参加自治体】大分都市広域圏7市1町と佐伯市 愛媛県側4市5町</p> <p>【参加施設】50箇所</p>	
	予算額	1,500 千円
取組の評価と今後（令和5年度以降含む）の方針や考え方		
今後も周遊スタンプラリーを実施することで、交流人口の拡大及び地域経済の活性化を図っていききたい。		



(2) 高次の都市機能の集積・強化

担当部会： 防災部会

6	広域的災害等に関する機能の構築	ビジョン 28ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
広域的な災害等に対応するため、災害時備蓄品の充実等を図るとともに、災害時における自治体間の連携に取り組む。		
連携事業		
<p>広域的災害に対して、圏域市町間で帰宅難民への対応や避難所の相互利用を取り決めるほか、災害発生時には安否・所在情報の共有を進め、広域的な災害対応体制の構築を目指します。</p> <p>また、各避難所等で災害時に避難してきた人へ、必要な物資を融通できるよう、災害時備蓄品の充実や連携体制の整備を進めます。</p> <p>【主な実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラウド型システムの共同利用による上下水道施設台帳の整備 		
連携効果		
<p>広域的災害発生時に課題となる、市町をまたいだ帰宅困難者や安否・所在不明へ適切に対応できるようになります。</p> <p>また、物資備蓄により、救援物資が届くまでの対処を行えるようになるとともに、市町間で連携して柔軟に対応できるようになります。</p>		

事業名	クラウド型システムの共同利用による上下水道施設台帳の整備	
令和4年度実績	日本水道協会大分県支部及び大分県下水道協会の活動や大分県水道ビジョンの取組を通して県内自治体にシステムの共同利用について呼びかけを行った。	
	決算額	5,995 千円
令和5年度実施予定事業	日本水道協会大分県支部及び大分県下水道協会の活動や大分県水道広域化推進プランの取組を通して県内自治体にシステムの共同利用について呼びかけを行う。	
	予算額	165,088 千円
取組の評価と今後（令和5年度以降含む）の方針や考え方		
<p>開発期間を経て、令和6年4月からシステムの供用開始を予定しており、大分市は供用開始から利用予定。</p> <p>供用開始後の他自治体の途中参加は可能であるため、県内自治体への共同利用の呼びかけを継続する。</p>		

(2) 高次の都市機能の集積・強化

担当部会： 幹事会

7	広域的公共交通網の構築	ビジョン 29ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
<p>圏域全体に都市的サービスを提供する環境、圏域の内外から多様な人々が集まる環境及び大都市への若者の流出に歯止めをかける環境を構築する目的で、高次都市機能の集積した中心拠点としての広域的公共交通網の構築に取り組む。</p>		
連携事業		
<p>バス・鉄道や航路などの広域的公共交通機関の利用拡大に向けたイベントの開催や地域公共交通との連携を進め、公共交通の利便性向上を目指します。 また、圏域市町で一体となって、鉄道や港湾などの整備について、関係機関へ働きかけを行います。</p> <p>【主な実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛・大分交流市町村連絡会議 ・豊予海峡ルート推進事業 		
連携効果		
<p>広域的公共交通の利便性を向上させることで、利用の機会を増やし、広域的公共交通網を将来にわたり維持していくことができます。</p>		

事業名	愛媛・大分交流市町村連絡会議	
令和 4年度 実績	第1回愛媛・大分交流市町村連絡会議開催（5月13日） 首長サミット 開催（7月14日） 第2回愛媛・大分交流市町村連絡会議開催（10月14日） 第3回愛媛・大分交流市町村連絡会議開催（令和5年2月24日）	
	決算額	5,922 千円
取組の評価と今後（令和5年度以降含む）の方針や考え方		
<p>令和4年7月14日に開催した首長サミットにおいて、令和5年以降も当圏域の交流促進に向けた事業を行っていくことを全首長が確認した。この合意を受け、今後の事業の進め方について、両県のとりまとめ担当である大分市と八幡浜市を中心に、大分県中部振興局及び愛媛県八幡浜支局の担当者を加えた事前協議を行った後、全市町担当者が参加した当実行委員会の準備会において、令和5年度からは、愛媛・大分両県18自治体の企画部門課長級職員と、両県の青年会議所、大学等学識経験者、観光・交通事業者等からなる「えひめ・おおいた交流事業実行委員会」を新たに結成することとした。</p>		

事業名	【再掲】えひめ・おおいた交流事業	
令和5年度 実施予定 事業	<p>愛媛・大分両県18自治体の企画部門課長級職員と、両県の青年会議所、大学等研究機関、観光・交通事業者等からなる実行委員会を結成。圏域における課題を抽出し、当該課題を解決するための施策について、総合的に協議及び検討を行うとともに、圏域内の交流を促進し、圏域の魅力を発信する事業を実施することにより、将来にわたり活力ある圏域経済の形成に寄与することを目的とする。</p> <p>(大分側) 大分都市広域圏の8市町、佐伯市 (愛媛側) 宇和島市、八幡浜市、大洲市、西予市、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回えひめ・おおいた交流事業実行委員会開催(5月19日) ・第2回えひめ・おおいた交流事業実行委員会開催(10月13日) ・第3回えひめ・おおいた交流事業実行委員会開催予定(令和6年2月) 	
	予算額	8,600 千円
取組の評価と今後(令和5年度以降含む)の方針や考え方		
圏域内交流人口の増加や、圏域外から人を呼び込む効果が見込める事業を実施することで、将来にわたり活力ある圏域経済の形成を目指す。		

事業名	豊予海峡ルート推進事業	
令和4年度 実績	<p>豊予海峡ルートに関する調査・分析や有識者による寄稿集の作成等、これまで実施してきた取組みを発展させ、更なる機運の醸成を図るため、5月30日(月)に東京で「豊予海峡ルート推進シンポジウム」を開催した(東京会場・大分サテライト会場・WEB視聴含めて約300名が参加)。また、10月13日(木)、14日(金)には、大分市で「豊予海峡ルート推進に関する勉強会」を開催し、愛媛県・大分県の関係自治体や日本青年会議所、JR九州等に参加をいただく等、豊予海峡ルートの意義について相互理解を深め、九州全体の国土強靱化に必要な取組みであることを確認した。</p>	
	決算額	7,524 千円
令和5年度 実施予定 事業	<p>豊予海峡ルートは、国が主導で実施するべき事業であり、大分県が庁内プロジェクトチームを立ち上げ、豊予海峡ルート構想を推進する姿勢を明確にしたことから、大分市としては、国に対する要望活動など、大分県に対して可能な協力をしていく。</p>	
	予算額	2,300 千円
取組の評価と今後(令和5年度以降含む)の方針や考え方		
これまで機運醸成のためのシンポジウム開催、事業の費用便益などの調査を行ってきた経験を活かし、大分県に対して可能な協力をしていく。		

(2) 高次の都市機能の集積・強化

担当部会： 幹事会

8	高等教育・研究開発の環境整備	ビジョン 29ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
将来を担う人材の育成を支援するため、高等教育・研究開発の環境整備に取り組む。		
連携事業		
<p>高等教育機関と企業とのマッチングの支援や産学官連携を進めることで、研究成果を社会へ還元し、企業の事業活動や住民生活の向上を目指します。</p> <p>また、県内大学の卒業生に対する圏域内企業との就職マッチングを図り、圏域内での就職・定着を支援します。</p>		
連携効果		
<p>産学官連携を拡大させることにより、商品開発や事業の効率化などの効果が期待できます。</p> <p>また、県内大学生の地元就職率の向上や若者の県外流出の防止となるとともに、地元企業の後継者確保につながります。</p>		
取組の評価と今後（令和5年度以降含む）の方針や考え方		
県内の高等教育機関や地域企業、自治体から構成されるおおいた地域連携プラットフォームと連携し、圏域共通の課題解決に向けた取組を検討していく。		